

令和元年度行政評価（平成 30 年度実施分） について

令和元年（2019 年）10 月 11 日

宝塚市行政評価委員会

目次

| | | |
|---|----------------------------|--------|
| 1 | 総評 | P 1 |
| 2 | 総合計画に掲げる「施策展開の方針」ごとの評価について | P 1～4 |
| 3 | 「施策展開の方針」ごとの評価 | P 5～15 |

令和元年度行政評価（平成 30 年度実施分）について

1 総評

今年度は、第 5 次宝塚市総合計画後期基本計画の 9 分野（地域福祉、健康、保健・医療、高齢者福祉、障がい者福祉、社会保障、環境保全、循環型社会、都市美化・環境衛生）の施策について、「施策展開の方針」ごとに外部評価を行った。

また、今年度も、評価に関連する施設として、フレミラ宝塚、市立看護専門学校の視察を行った。現地では、運営目的や事業内容、施設設備について担当者から説明を受け、理解を深めた。

総評としては、個別の施策や事務事業について指摘はあるものの、全般的に概ね適切に内部評価が行われたと判断する。

2 総合計画に掲げる「施策展開の方針」ごとの評価について

当委員会で行った「施策展開の方針」ごとの評価結果は、別紙のとおりである。今年度も適切に内部評価が行われているかや、施策の推進・改善について、限られた時間の中で、活発に議論を行った。

さらなる審議時間を確保するため、昨年度から、運営方法の見直しを行ったところであるが、次期総合計画での評価を行う際には、外部評価の対象とする事務事業を政策としての重要性が高いものや、市民の関心の高いものに絞り込むことも検討課題と考える。また、評価する上で、内容が不十分と思われる施策評価表や事務事業評価表が見受けられた。施策評価と事務事業評価からなる本市の行政評価制度の趣旨とその成果についての理解が十分ではない場合もあると考えられる。より良い外部評価を行えるよう改善を求めたい。

社会の各方面において AI の活用が検討されている。行政評価に関しても、内部評価を行う職員の負担軽減、施策の策定や事務事業の企画立案の支援といった点で、AI を活用した新しいシステムが研究されつつある。将来に向けた研究を検討課題と考える。

(1) 推進・改善について

別紙の評価結果については、今後の市の施策展開に活用していただきたい。また、以前に改善提言を行った施策についても、更なる施策の推進を図られたい。

(2) 内部評価について

内部評価における改善点について、以下のとおり指摘する。

① 施策評価表について

ア 事務事業の内容をわかりやすく記載すること。

イ 指標については、施策の主な取組や各事務事業に関するものを設定すること。また、指標だけでは施策の成果を十分に把握することが困難な場合は、進捗がわかるよう具体的に記載すること。

ウ 各選択肢については、選択する判断基準が、評価者によって異なるものが見受けられたため、判断基準の統一を図ること。

② 事務事業評価表について

ア 内容や成果がわかるよう詳細に記載すること。

イ 人件費については、適切に把握できていない場合が見受けられた。限られた人的資源を効果的に配分するためにも、人件費に対するコスト意識の醸成と適切な把握を行うこと。

③ 評価者の意識向上とスキルアップについて

評価は、実施した施策が、企画立案され、決定された時のねらい通りになっていない場合に見直しを行うため、また、社会経済の変化を踏まえ、施策が必要かどうか検証を行うために実施するものである。評価者の意識向上やスキルアップを目的に、今年度も研修が実施され、改善が見られているが、施策によっては、前年度と同様の評価を行っているものも見受けられる。評価者が評価を行う必要性を理解し、スキルを上げるよう取り組むこと。

(3) 総合計画の推進に向けて

課題については、毎年指摘しているところであるが、改めて以下のことを指摘したい。

- ① 「施策展開の方針」の数が多い故に、評価の作業を困難にしている。
- ② 基本計画というより分野別計画に基づいて事業が行われている場合が見られる。
- ③ 事務事業のサイズが大きく、施策評価表において再掲という形で多く出てきている。それぞれの「施策展開の方針」に対応して、どれくらいの予算が付き、どのような業務をどれくらいの時間と人数で行い、どのような成果をあげているのかがわかりにくい。
- ④ 基本計画の「施策展開の方針」と分野別計画と事務事業が同じようなサイズで存在しているため、政策体系の全体と細部を見て理解し、総合調整を図ることが困難になっている。

後期基本計画も終盤を迎え、計画に掲げた取組の多くは実行できていると評価できるが、社会や経済の変化を踏まえ、行政が取り組む必要性を常に検証することや、複雑化する課題に組織横断的に対応することが一層求められている。庁内部局間の横のつながりを強化すると共に、大胆な発想を取り入れながら、現計画の推進や、次期計画の策定に取り組むことを求めたい。

(4) 実施日程

令和元年度の宝塚市行政評価委員会は、以下の日程で開催した。

| 会議 | 日程 | 内容 |
|--------|----------|-------------------------------|
| 第1回委員会 | 7月9日(火) | 前年度評価に対する市の対応状況等の説明、施設見学、模擬評価 |
| 第2回委員会 | 7月23日(火) | 「地域福祉」「健康」 |
| 第3回委員会 | 8月5日(月) | 「保健・医療」「高齢者福祉」 |
| 第4回委員会 | 8月21日(水) | 「障がい者福祉」「社会保障」 |
| 第5回委員会 | 9月3日(火) | 「環境保全」「循環型社会」「都市美化・環境衛生」 |
| 第6回委員会 | 9月20日(金) | まとめ |

(5) 評価者（行政評価委員会）

委員会の構成については、以下の通りである。

令和元年度宝塚市行政評価委員会 委員名簿

(任期：平成30年4月1日～令和4年3月31日)

| 氏名 | 選出区分 | 所属・役職等 |
|--------|---------------|--|
| 窪田 好男 | 知識経験者 | 京都府立大学 公共政策学部 教授 |
| 藤本 真里 | 知識経験者 | 兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境マネジメント研究部 主任研究員 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所環境計画研究部門 准教授 |
| 内田 真 | 知識経験者 | 行政評価 実務家 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所主任研究員 |
| 松村 孝三 | 市内の公共的団体等の代表者 | 宝塚市自治会ネットワーク会議世話役 |
| 松尾 隆寛 | 市内の公共的団体等の代表者 | 一緒にプロジェクト（地域活動団体） 弁護士 |
| 照屋 友紀恵 | 公募による市民 | 市民 |

(参考) 外部評価概要

(1) 外部評価について

宝塚市は、第5次宝塚市総合計画において、行政評価について外部（市民や知識経験者等）の視点に基づく意見・提案・評価を取り入れることとし、外部評価の導入を決定した。これを受け、平成24年度に、市民や知識経験者等で組織する行政評価委員会を設置し、毎年度、外部評価を実施している。

(2) 外部評価対象施策

平成28年度までの外部評価は、第5次宝塚市総合計画の前期基本計画について評価を実施し、平成29年度より、後期基本計画について評価を行っている。

後期基本計画では、38の施策分野、115の「施策展開の方針」のうち、35の施策分野、103の「施策展開の方針」を当委員会の評価対象としている（学校教育、社会教育、スポーツの3施策分野については、教育委員会事務執行等評価で評価）。

より丁寧に評価するため、平成30年度より4カ年をかけて評価対象となっている全ての施策を評価することとしている。

(3) 評価方法

評価については、担当室・課が作成した施策評価表及び事務事業評価表によって施策や事務事業の概要を把握し、ヒアリングを行う方法により実施した。

3 「施策展開の方針」ごとの評価

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|--------------|-------------------------------------|-----------|--|
| 地域福祉 地域福祉 | 1 地域福祉の基盤となるネットワークづくりと地域社会づくりを推進します | 内部評価について | <p>各選択肢の判断は妥当であるが、指標、目標値の改善が必要である。</p> <p>この細施策で主な取組として掲げている心のバリアフリーの推進について、取組状況がわかる指標や記載をする必要がある。</p> <p>細施策や「地域福祉推進事業」の指標に、人づくりに関する指標を設定する必要がある。</p> <p>「災害時要援護者支援事業」の対象を市民としているが、災害時に支援が必要な人を対象としているので、対象の範囲を見直す必要がある。また、避難支援組織数は対象となる組織・団体について方針を定めて目標値を設定してはどうか。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>ネットワークづくりとは人づくりであり、地域の担い手や協力してくれる人をつくるのが重要だが、その手段としての事務事業が少ない。人づくりの観点から各事業の狙いを考え直す必要がある。</p> <p>災害時要援護者支援制度の避難支援組織はセーフティネットの観点からも重要であるため、組織数の増加に努める必要がある。</p> |
| | 2 認知症高齢者や障がいのある人などの権利擁護体制の充実を図ります | 内部評価について | <p>各選択肢の判断は妥当であるが、指標の改善と目標値の検討が必要である。</p> <p>成年後見制度市長申立件数の目指す方向性が横ばいで適切なのか検討するべきである。また、「市長申立に要する時間」を指標に設定してはどうか。</p> <p>虐待の早期発見・早期対応について、取組状況がわかる指標や記載をする必要がある。</p> <p>認知症サポーターに関する指標を設定する必要がある。</p> <p>「成年後見制度利用支援事業（介護保険）」の事業概要の手段については、市長申立を行っていない生活保護受給者も対象になるので、記載内容を修正する必要がある。</p> <p>「介護相談員等派遣事業」の取組状況がわかる記載をする必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「介護相談員等派遣事業」で、面接・相談件数が減少しており、より効果的な事業となるよう対策を検討する必要がある。</p> |
| | 3 すべての人の参加・つながりによる地域福祉活動の充実に努めます | 内部評価について | <p>目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当であるが、指標の改善が必要である。</p> <p>世代間交流の推進について、取組状況がわかる指標や記載をする必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>民生児童委員の高齢化が進んでおり、欠員が生じることによる負担の増大が大きな課題となっているため、活動の充実に向けて一層の取組を期待したい。</p> <p>地域の担い手が高齢化と共に数も減少していることを踏まえ、人材や若い世代の担い手の発掘のため、各事業で抜本的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>若年性認知症の取組が弱いことから、今後、強化していく必要がある。</p> <p>世代間交流がより活発に行われるよう、取組を推進していく必要がある。</p> <p>総合福祉センターの利用者数が減少している理由を検証し、あり方について検討する必要がある。</p> |

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|------|---------------------------------------|-----------|---|
| (健康) | 1 健康意識の向上とライフステージに応じた健康づくりを推進します | 内部評価について | <p>目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当であるが、指標の改善が必要である。</p> <p>全国又は都道府県と対比可能なデータ等、数値で示すことのできるデータについては、指標として設定する必要がある。</p> <p>政策の効果を調べるにあたっては、啓発や意識、知識に関する質問項目を設け、指標として設定してはどうか。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>健康づくりの啓発活動は、自治会やまちづくり協議会等の地域が行うものと市が行うものがあるが、重複している取組がある。お互いの取組が活きるよう整理し、連携して行っていく必要がある。</p> <p>「後期高齢者健康ドック助成事業」については、受診費用の7割を市が負担している。後期高齢者の健康づくりも大切だが、市が負担する費用について検討してはどうか。</p> <p>口腔保健センターについては、民間の歯科医院との連携により運営をしていく必要がある。</p> <p>全体を通して、事務事業の総合評価に「改善」が多いことから、それらに対する対応策が必要である。</p> |
| | 2 地域の健康づくり活動や介護予防活動を推進します | 内部評価について | <p>内部評価については、指標、目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当である。</p> <p>「自殺予防対策事業」については総合評価を「改善」としているが、どのような点を課題と考えているのかが分かりづらいため、課題がわかるように記載する必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>健康教育実施回数について、目標値と実績値が乖離しており、取組のさらなる推進のため、実施回数の増加を期待する。</p> <p>「自殺予防対策事業」については、自殺者を減らすため、自殺予防ゲートキーパーを増やす取組を推進する必要がある。また、次期総合計画策定に向け、事業の位置づけについて検討してはどうか。</p> <p>健康づくり活動については、身近な地域で活動を行ってもらうことが重要であるという点から、市は活動に対して支援を行う一方で、地域での担い手の不足や高齢化等の実状を踏まえて、取組を行っていく必要がある。</p> |
| | 3 安心して子どもを産み、育てることができるよう支援する仕組みを充実します | 内部評価について | <p>目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当であるが、指標の改善が必要である。</p> <p>細施策の指標については、年齢順に並べ見やすくするとともに、現在の指標だけでは施策の進捗状況を判断しづらいため、子育て世代包括支援センターでの相談件数を設定するなど、進捗状況がわかるよう工夫する必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「子ども家庭支援センター事業」の相談件数が減少傾向であることに関して、子育て世代包括支援センターの設立の観点から、施策の役割分担を行い、様々なところで相談を受けられることが望ましく、市として色々な相談窓口があることをPRしていく必要がある。また、きらきらひろばの利用者数が減少傾向にあるため、分析が必要ではないか。</p> <p>きらきら子育てメール等による子育ての情報提供については、届けたい人に情報が行き渡っていないことが考えられるため、今後、より多くの人に届ける工夫が必要である。</p> |

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|------|--|-----------|---|
| (健康) | 4 恵まれた自然を生かすとともに、家庭、地域、関係団体などとの連携により食育を推進します | 内部評価について | <p>目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当であるが、指標の改善が必要である。</p> <p>子ども食堂が大学との連携や貧困に係る施策にもつながる可能性があることや、世代間交流にもなっていることから、指標として用いてはどうか。</p> <p>細施策の指標として設定されている学校給食の地産地消の割合は、異なる所管課が連携して行っていることを示す意味でも、「給食事業」において設定してはどうか。</p> <p>ネットワークづくりについての指標を用いることができない場合は、取組状況がわかる記載をする必要がある。また、ネットワークを構築したのちの施策展開についても記載をする必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>施策評価表の施策展開の方針を取り巻く環境の変化については、近年関心が高まっている食品ロスの問題について記載する必要があるのではないかと。</p> |

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|---------|--|-----------|---|
| (保健・医療) | 1 保健・医療・福祉の連携により、疾病や介護の予防を推進します | 内部評価について | <p>指標、目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当である。 この細施策ではかかりつけ医を持つ市民を増やすことが重要であるため、その取組について記載する必要がある。 評価表において、「医療と介護の連携」「保健・医療・福祉の連携」とあるが、取組の必要性や現在の取組内容、問題点がわかるような記載をする必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「予防接種事業」だけでは、「保健・医療・福祉の連携」とはいえないため、他の取組を行う必要がある。 この細施策では、かかりつけ医を持つ市民を増やすことが重要であるため、そのための取組が必要である。</p> |
| | 2 市立病院の経営の安定化を図るとともに、医療機関や介護施設との連携を推進するなどし、地域に安全・安心な医療を提供します | 内部評価について | <p>指標、目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当である。 市立病院の経営状況について理解しづらいため、評価表の記入を工夫する必要がある。 細施策を取り巻く環境の変化について、市立看護専門学校についての視点が抜けているため、正しく変化を捉え記載する必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>市立看護専門学校について、前回の外部評価時には、市立病院で働く看護師確保と、市立病院で働く看護師を養成することを目的とする旨の説明があったが、今回は、市立病院への就職希望者確保に取り組むとなっており、必要性が分からなくなっている。大学や民間の専門学校が設立される等時代の変化もあるため、学校の在り方について検討する必要がある。 市立病院については、赤字体質から抜け出すために、地域を取り巻く状況や地域の医療機関の状況等を複合的に捉えながら、人件費の抑制や急性期医療に特化していく取組などの経営改善を一層進めていく必要がある。</p> |
| | 3 安心の救急医療体制の充実を図ります | 内部評価について | <p>各選択肢の判断は妥当であるが、指標の改善と目標値の設定が必要である。 細施策を取り巻く環境の変化については特になしとなっているが、歯科医院が増加し、休日に診療する民間の歯科医院も増加している等、環境の変化について記載をする必要がある。 事務事業評価表では目標値が設定されていないため、設定する必要がある。 「休日歯科応急診療事業」について、市で取り組む必要があるのであれば、指標を設定し説明する必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「休日歯科応急診療事業」について、事業費や休日に診療する民間の歯科医院が増加しているといった環境の変化を踏まえ、市が取り組む必要性を検討する必要がある。 阪神北広域こども急病センターは、少子化のため患者数が減少しており、市の負担金の増加が懸念されることから、できる限り費用を抑えられるよう見直しを行っていく必要がある。</p> |

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|-------------|--|-----------|---|
| へ高齢者福祉 へ | 1 住み慣れた地域で、元気で安心して暮らすことができるための体制を構築します | 内部評価について | <p>目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当であるが、指標の改善が必要である。</p> <p>施策展開の方針の「体制の構築」に当てはまらない事業があるため、事業の細分化を行い整理したうえで、個々の取組が適切に行われ、成果があることがわかる指標を設定する必要がある。</p> <p>制度を知らない人も、事業内容や国の動きを踏まえ重点的に取り組んでいる内容が分かる記載をする必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>次期総合計画では、細施策の方針が誰にでも理解できるよう施策を組み直す必要がある。</p> <p>高齢者を支える家族へのサポート事業を充実させる必要がある。</p> <p>「地域介護予防活動支援事業（健康推進課）」は、成果指標の実績値が低いことから、推進員が学びたいことを調査する等、研修会の内容を工夫するか、事業の廃止を検討する必要がある。</p> <p>指標の代わりとして、エイジフレンドリーシティ行動計画の進捗に関する報告書のURLを評価表に掲載してはどうか。</p> |
| | 2 高齢者を支える地域ネットワークづくりを推進します | 内部評価について | <p>各選択肢の判断は妥当であるが、指標の改善と目標値の設定が必要である。</p> <p>指標の多くに目標値が設定されていないため、設定する必要がある。</p> <p>認知症ケアパスと認知症ノートについて、現在の取組状況がわかる指標や目標値の設定、記載をする必要がある。</p> <p>順調に進んでいない事業の原因分析や、具体的な対応策を明確にし、記載をする必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「介護ファミリーサポートセンター事業」について、総合評価が改善であり、指標の「提供会員登録者数」も減少している。地域ネットワークづくりに市独自の事業は重要であるが、介護保険制度が充実するなどの社会変化を踏まえ、事業内容の工夫や廃止の検討が必要である。</p> |
| | 3 高齢者の社会参加と生きがいを推進します | 内部評価について | <p>各選択肢の判断は妥当であるが、指標の改善と目標値の設定が必要である。</p> <p>指標の市民アンケート結果は市民全体についてのものであるため、高齢者について設定し、目標値を定めてはどうか。また、「フレミラ宝塚での講座参加者数」や「老人クラブの加入率」を指標に設定してはどうか。</p> <p>評価表だけでは取組状況がわかりにくいため、指標や記載内容の改善を行うと共に、見せ方の工夫を行う必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「老人クラブ活動助成事業」について、高齢者の生活状況の変化に伴い、老人クラブのあり方を検討してはどうか。</p> <p>現在の高齢者の多くは元気であり、高齢者の社会参加と生きがいをづくりに向け、現状と課題を把握した上で事業を展開していく必要がある。</p> <p>市民が講座で学んだことを地域で活かすには、講座に関係する市の関係部局と講座の担当者が連携し、地域に活かす仕組みづくりを行う必要がある。</p> |

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|----------|---|-----------|--|
| (障がい者福祉) | 1 障害福祉サービスなどの充実や地域支援体制の構築に取り組みます | 内部評価について | <p>目標値の設定は妥当であるが、指標の改善が必要である。各選択肢の判断については以下の通り指摘する。</p> <p>事務事業構成の適正性や総合評価を推進に向けて対応策が必要としているが、事務事業の構成を変えるような事由は見受けられないため、“現在の取組が適正” “現状維持”としてはどうか。</p> <p>地域生活移行者数等、障害福祉計画で目標に掲げられている数値を指標に設定する必要がある。</p> <p>前回の委員会で指摘を受けて行ったことについて記載する必要がある。</p> <p>地域生活支援拠点事業や重度の障碍（がい）児に関する取組について記載する必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>市独自の上乗せ、横出しがある事業を全体的に見直す必要がある。</p> <p>「地域生活支援事業」に多くの取組が含まれており、各取組の必要性等が見えにくいいため、取組別に分割する必要がある。</p> <p>「障害者（児）歯科診療事業」について、民間の歯科医院が増加している中、市で行う必要があるのか検討する必要がある。</p> |
| | 2 住まいや就労の支援などによる社会参加の実現、権利擁護の推進により、尊厳を持って暮らせる地域社会をめざします | 内部評価について | <p>指標の設定は適切であるが、目標値の設定が必要である。各選択肢の判断については以下の通り指摘する。</p> <p>事務事業構成の適正性や総合評価を推進に向けて対応策が必要としているが、3年間総合評価に変化はなく、事務事業の構成を変えるような事由も見受けられないため、“現在の取組が適正” “現状維持”としてはどうか。</p> <p>目標値が設定されていないものについては設定する必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>障碍（がい）のある方が身近なところで働ける場所を増やす取組を推進していく必要がある。そのためには、既存の事業所が、バリアフリー等の環境を整えるための取組を推進する必要がある。</p> |
| | 3 障がいのある児童の成長を支える取組を推進します | 内部評価について | <p>指標、目標値の設定は適切である。各選択肢の判断については以下の通り指摘する。</p> <p>事務事業構成の適正性や総合評価を推進に向けて対応策が必要としているが、事務事業の構成を変えるような事由は見受けられないため、“現在の取組が適正” “現状維持”としてはどうか。</p> <p>事務事業構成の適正性の記載欄で、「民間事業者も利用計画を作成できる」「相談支援体制と関係機関との連携」とあるが、具体的な内容が伝わりにくいため、詳細に記載する必要がある。</p> <p>「保育所等訪問支援事業」について、課題である支援員の不足について記載する必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「保育所等訪問支援事業」について、支援対象者数が増加しており支援員の不足が問題であるため、支援員の増員を検討してはどうか。</p> |

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|----------|---|-----------|---|
| (障がい者福祉) | 4 ノーマライゼーションの理念に基づき、「シンシアのまち宝塚」にふさわしい、人にやさしいまちづくりの実現を図ります | 内部評価について | <p>目標値の設定は妥当であるが、指標の改善が必要である。各選択肢の判断については以下の通り指摘する。</p> <p>事務事業構成の適正性や総合評価を推進に向けて対応策が必要としているが、事務事業の構成を変えるような事由は見受けられないため、“現在の取組が適正”“現状維持”としてはどうか。</p> <p>ソフト面の取組に関する指標がないため、心のバリアフリーについての市民意識などの指標を設定する必要がある。</p> <p>手話言語条例に関する事務事業をこの細施策に位置づける必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「障害・障害者理解市民啓発事業」で行っているイベントは、NPO法人等のノウハウを持つ外部に任せることが効果的かつ効率的と考えられるため、委託を検討する必要がある。</p> |

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|--------|--|-----------|---|
| (社会保障) | 1 経済的、日常的、社会的な自立をめざして、適切な支援が確実にできるような「セーフティネット」としての機能を高めます | 内部評価について | 指標、目標値の設定は適切である。各選択肢の判断については以下の通り指摘する。 事務事業構成の適正性や総合評価を推進に向けて対応策が必要としているが、事務事業の構成を変えるような事由は見受けられないため、“現在の取組が適正”“現状維持”としてはどうか。 |
| | | 推進・改善について | 指標の生活保護率や非保護世帯数の目指す方向性が下向きになっているが、「生活保護事業」の意図は、憲法で定められているように健康で文化的な最低限度の生活の保障であるため、手段を選ばずに指標の達成を目指すことのないよう適切に取り組む必要がある。 「生活保護受給者等就労支援事業」について、就労支援員の増員を検討してはどうか。 「中国残留邦人生活支援給付事業」について、対象者は帰国から時間が経過しており、日本語教育等の支援を続けることが効果的か、あり方を検討する必要がある。 「生活困窮者自立支援事業」にある複数の事業を細分化する必要がある。 |
| | 2 安心して医療を受けられることができるよう、国民健康保険事業、福祉医療費助成事業などの健全な運営に努めます | 内部評価について | 指標、目標値の設定は適切である。各選択肢の判断については以下の通り指摘する。 事務事業構成の適正性や総合評価を推進に向けて対応策が必要としているが、事務事業の構成を変えるような事由は見受けられないため、“現在の取組が適正”“現状維持”としてはどうか。 |
| | | 推進・改善について | ジェネリック医薬品のシェア上昇のためには、薬局や医師の連携した取組が重要と考えられるため、市の取組でどれだけの効果があるか検証する必要がある。 「施設管理事業（国民健康保険診療所）」等の診療所に係る事業については、一般会計からの繰出が行われていることから、委託を検討する等、収支の改善に一層取り組む必要がある。 |

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|--------|---|-----------|--|
| 〈環境保全〉 | 1 地球温暖化対策として、環境問題に対する意識向上とそれに基づくライフスタイルの実践などにより、温室効果ガス排出量の削減を図ります | 内部評価について | <p>各選択肢の判断は妥当であるが、指標の改善と目標値の設定が必要である。 「宝塚エネルギー2050ビジョン」に関する事業内容について記載をする必要がある。 公共交通機関の利用や次世代自動車への転換に関する記載や指標の設定が必要である。 再生可能エネルギーの自給率や活用率に関する指標や目標値を設定する必要がある。 市民意識を向上させるという点では同施策の細施策3と重なっており、取組の違いがわかるよう記載をする必要がある。 「省エネルギー促進事業」について、助成件数や割合、効果に関する記載をする必要がある。 この細施策は市民意識の向上により削減を図るものだが、実際の取組は太陽光パネルの設置等、別のものになっているため、評価内容を見直してはどうか。</p> |
| | 2 多様な生物が存在することの重要性を周知し、豊かな自然環境の保全に取り組みます | 内部評価について | <p>目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当であるが、指標の改善が必要である。 特定外来生物の防除に関する指標を設定する必要がある。 国土交通省による「都市の生物多様性指標」をこの細施策の指標として利用してはどうか。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「都市の生物多様性指標（簡易版）」は、地方公共団体が将来の施策立案、実施、普及啓発等に活用できるツールとして国土交通省が策定し、本市にも適したものであるため、今後の取組や評価に使用してはどうか。 「公害対策事業」、「西谷地区生活排水対策推進事業」、「北雲雀きずきの森緑地環境整備事業」については、この細施策の生物多様性の取組としては間接的であり、指標も設定されていないため、別の細施策に位置付けてはどうか。</p> |
| | 3 環境問題に関心を持ち、自ら行動する市民の増加を図るなど、環境活動を拡充します | 内部評価について | <p>目標値の設定は適切であるが、指標の改善が必要である。各選択肢の判断については以下の通り指摘する。 たからづか環境マイスターについて、対象者や活動内容、目的、目標を明らかにするため、指標の設定や記載をする必要がある。 たからづか環境マイスターなど、市民により多くの役割を担ってほしいということであれば、市民との役割の妥当性については、“役割分担の見直しが必要”としてはどうか。 指標の実績値は悪化しているものの実質的には取組が順調である場合は、その理由について記載する必要がある。 「環境推進事業（再掲）」について、事業費が大きい時には300万円程度かかる事業であるため、事業内容を詳しく記載する必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>たからづか環境マイスターについては、若い人も対象とし、高齢化が課題となっている環境問題に取り組む既存団体でも活躍してもらえるよう取り組んではどうか。</p> |

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|-------|--|-----------|---|
| 循環型社会 | 1 環境への負荷が少ない循環型社会の構築に向けて、ごみの減量・資源化を推進します | 内部評価について | <p>指標、目標値の設定は適切である。各選択肢の判断については以下の通り指摘する。</p> <p>事業系ごみの減量や事業者への働きかけ、食品ロスの取組を踏まえ、総合評価を“推進に向けて対応策をとる”としてはどうか。また、市民との役割分担の適正性についても、ごみゼロ推進員のあり方や社会背景を踏まえ、“役割分担の見直しが必要”としてはどうか。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>事業系ごみの減量のため、事業者への啓発を積極的に行う必要がある。</p> <p>ごみゼロ推進員の取組は住民の自発性が重要であり、現在のごみの減量化に関心を持つ人を増やしていく取組も重要であるが、関心を持つ人の支援や、環境とは別の分野で意欲や能力がある人の協力を得るための支援も検討してはどうか。また、推進員の任期終了後も活動が広がるような働きかけを行う必要がある。</p> <p>粗大ごみ処理については、ごみの減量化のためにも、処理手数料の適正化に向けて検討してはどうか。</p> |
| | 2 安全で効率的なごみ処理をめざします | 内部評価について | <p>目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当であるが、指標の改善が必要である。</p> <p>ごみ収集やごみ処理施設における事故発生率に関する指標を設定してはどうか。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「塵芥処理事業」のきずな収集について、今後対象者の増加が考えられることから、対象者の近隣住民にごみを出してもらうなど、事業内容を見直してはどうか。</p> <p>ごみ収集業務については、民間活力の導入を進めるという長期的な視点から民間委託の割合を増やしてはどうか。</p> |

| 施策 | 施策展開の方針 | 指摘 | まとめ |
|-------------|---------------------------------|-----------|--|
| 〈都市美化・環境衛生〉 | 1 市民と連携・協力した取組を展開し、都市美化を推進します | 内部評価について | <p>指標、目標値の設定は適切である。各選択肢の判断については以下の通り指摘する。</p> <p>事務事業構成の適正性や総合評価を“推進に向けて対応策が必要”としているが、事務事業の構成を変えるような事由は見受けられないため、“現在の取組が適正”“現状維持”としてはどうか。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>不法投棄への対応について、監視カメラの設置の効果について情報を収集する必要がある。また、柵の設置等、別の対策を推進する必要がある。</p> |
| | 2 快適な生活環境を創出するため、環境衛生対策の充実を図ります | 内部評価について | <p>目標値の設定は適切であるが、指標の改善が必要である。各選択肢の判断については以下の通り指摘する。</p> <p>地域猫活動についての指標を設定する必要がある。</p> <p>事務事業構成の適正性や総合評価を“推進に向けて対応策が必要”としているが、事務事業の構成を変えるような事由は見受けられないため、“現在の取組が適正”“現状維持”としてはどうか。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>「公衆便所管理事業（管理課）」について、市が行う必要性を見極める必要がある。</p> |
| | 3 墓地の長期的かつ安定的な供給などに努めます | 内部評価について | <p>指標、目標値の設定は適切であり、各選択肢の判断も妥当である。</p> <p>事務事業構成の適正性や総合評価を“推進に向けて対応策が必要”としている理由を分かりやすく記載する必要がある。</p> |
| | | 推進・改善について | <p>合葬型墓地の整備や霊園のPR活動等様々な取組が行われており、前回の評価時よりも改善がみられる。死後や葬送、供養等は市民の不安材料であるため、引き続き社会の流れや市民の希望を捉え、市民が死後も安心であると思えるよう取り組んでいく必要がある。また、あまり場所をとらない墓地であれば、アクセスの良い場所を検討してはどうか。</p> <p>次期総合計画の基本計画は10年の計画であり、団塊の世代が高齢化し、墓じまいや自身の死後について検討を始める時期にあたるため、柔軟に対応できるよう計画を策定してもらいたい。</p> |